

コクサイ－MUGCTラスト－

単位型 dbX－ウイントン・ パフォーマンス連動ファンド1110 (豪ドル建)

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／単位型

交付運用報告書

作成対象期間 第6期
(2016年11月1日～2017年10月31日)

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<http://www.sc.mufig.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

サブ・ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

**ルクセンブルク三菱UFJ
インベスターサービス銀行S.A.**

代行協会員

**三菱UFJモルガン・スタンレー証券
株式会社**

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、コクサイ－MUGCTラスト－単位型 dbX－ウイントン・パフォーマンス連動ファンド1110(豪ドル建)(以下「サブ・ファンド」といいます。)は、このたび、第6期の決算を行いました。

サブ・ファンドの投資目的は、2018年10月9日(以下「本債券満期日」といいます。))において発行価格の104.2%を確保しつつ、受益者に対して、参照指数であるボラティリティ・コントロール指数(以下「参照指数」といいます。)(注)のパフォーマンスに連動するリターンを提供することにより、サブ・ファンドの資産の中長期的成長を目指すことです。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

(注)参照指数は、ボラティリティ調整の仕組みを有しつつ、ウイントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド(以下「ウイントン社」といいます。)が投資助言会社を務めるdbX－CTA5ファンド(以下「原ファンド」といいます。)のパフォーマンスを反映して価格が決定される想定上の口座です。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

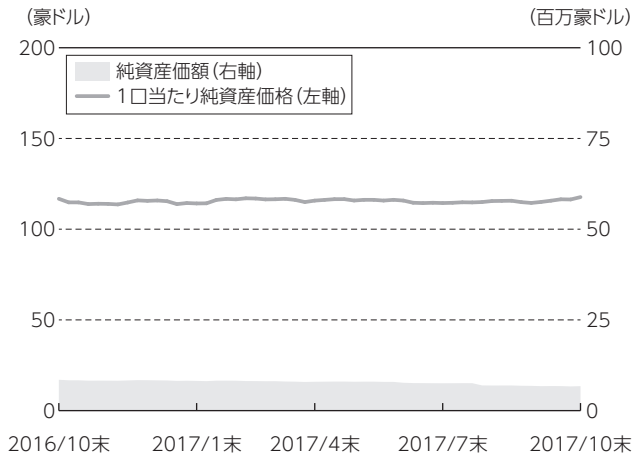
第6期末	
1口当たり純資産価格	117.68豪ドル
純資産価額	6,743,315.14豪ドル
第6期	
騰落率	0.83%
1口当たり分配金合計額	該当事項はありません。

(注1)1口当たり純資産価格および純資産価額は、財務書類における数値を記載しており、取引日(評価日)付で公表されている1口当たり純資産価格および純資産価額の数値と一致しない場合があります。以下同じです。

(注2)騰落率は、1口当たり純資産価格に基づき計算しています。以下同じです。

《運用経過》

【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】



第5期末の1口当たり純資産価格:

116.71豪ドル

第6期末の1口当たり純資産価格:

117.68豪ドル

第6期中の1口当たり分配金合計額:

該当事項はありません。

騰落率:

0.83%

(注1) サブ・ファンドは分配を行わない方針であるため、課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を記載していません。以下同じです。

(注2) サブ・ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) サブ・ファンドにベンチマークは設定されていません。

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

原ファンドにおいては、株式指数セクターや農産物セクターなどがプラスに寄与しました。一方、エネルギー・セクターや通貨セクターなどはマイナスに作用しました。

【費用の明細】

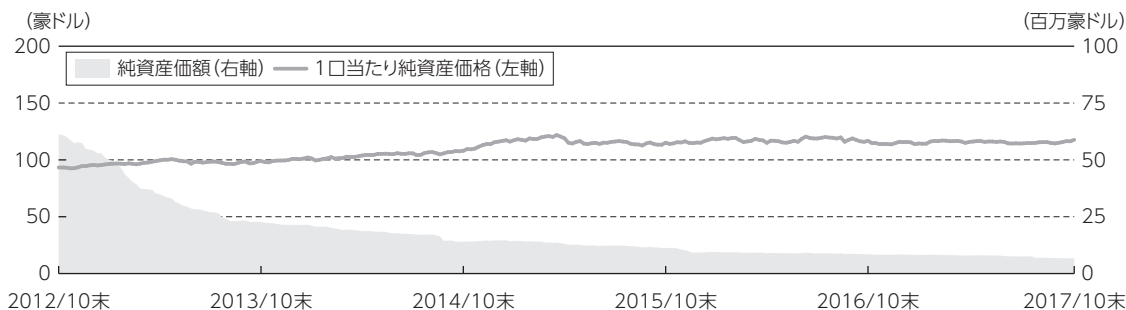
項目	項目の概要	
管理報酬 (副管理報酬を含みます。)	発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.04%	信託証書に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。
投資顧問報酬	発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.14%	投資顧問契約に基づく投資顧問業務の対価として、投資顧問会社に支払われます。
受託報酬	発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.01% (最低年間10,000米ドル)	信託証書に基づく受託業務の対価として、受託会社に支払われます。
管理事務代行報酬	発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.06%	管理事務代行契約に基づく管理事務代行業務の対価として、管理事務代行会社に支払われます。
保管報酬	合意済の取引手数料の支払、適切な裏付けのある立替費用の払戻しを受けます。	保管契約に基づくファンド資産の保管業務の対価として、保管会社に支払われます。
販売報酬	発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.35%	投資者からの申込みまたは買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、日本における販売会社に支払われます。
代行協会員報酬	発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.10%	受益証券1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を日本における販売会社に送付する等の業務の対価として、代行協会員に支払われます。
その他の費用(当期)	-0.22% ^(注3)	サブ・ファンドの設立および終了の費用、投資関連費用、運営費用(弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等に係る報酬および監査人等に支払う監査に係る報酬等)、およびその他すべての管理事務費用として支払われます。

(注1)各報酬については、有価証券報告書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をサブ・ファンドの当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2)各項目の費用は、サブ・ファンドが組み入れているパフォーマンス・リンク債の費用を含みません。

(注3)当期のその他の費用は、監査に係る報酬の払戻しを受けたため、収入として計上されております。

【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】



	第1期末 2012年10月末日	第2期末 2013年10月末日	第3期末 2014年10月末日	第4期末 2015年10月末日	第5期末 2016年10月末日	第6期末 2017年10月末日
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	93.55	98.99	108.02	115.08	116.71	117.68
1口当たり分配金額 (豪ドル)	-	-	-	-	-	-
騰落率 (%)	-	5.82	9.12	6.54	1.42	0.83
純資産価額 (豪ドル)	61,387,006.12	22,559,638.06	13,944,931.06	11,335,071.42	8,496,381.15	6,743,315.14

(注)サブ・ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

【投資環境について】

世界の株式市場は上昇しました。米国の株式市場は、好調な企業業績などから株価が上昇しました。欧州ではフランス大統領選挙の結果を受けて政治的混乱の懸念が後退したことなどが好感され上昇しました。日本の株式市場は好調な企業業績に加えて、安倍政権の基盤強化への期待などから上昇しました。新興国株式市場も景気拡大などを受けて上昇しました。

債券市場では、米連邦準備制度理事会 (FRB) が利上げを行い、米国の長期金利は上昇しました。欧州や日本でも長期金利は上昇しました。

原油価格は、需給悪化懸念などを受けて下落する局面もあったものの、石油輸出国機構 (OPEC) の減産延長による需給改善期待などから上昇しました。金価格は、下落しました。

為替市場では、米ドルは対円で上昇しましたが、対ユーロでは下落しました。

【ポートフォリオについて】

サブ・ファンドでは、当期において、ドイチェ・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイ (以下「本債券発行会社」といいます。)により発行されるパフォーマンス・リンク債への組入れを高位に保ちました。本債券満期日において豪ドル建発行価格の104.2%を確保しつつ、ウィントン社が投資助言する原ファンドのリターンを反映した収益の確保を目指しました。原ファンドに関しては、ウィントン社の旗艦ファンドであるウィントン・ファンド (旧ウィントン・フューチャーズ・ファンド) と同様の運用プログラムに基づくウィントン社の投資助言に従って運用されています。

【分配金について】

該当事項はありません。

《今後の運用方針》

引き続き、パフォーマンス・リンク債を通じて、満期日において豪ドル建発行価格の104.2%を確保しつつ、原ファンドのリターンを反映した収益の確保を目指します。原ファンドの主な投資目的は、特定の市場動向に依存することなく、幅広く分散されたトレーディング・スキームを追求することによって、複合的な純資産の成長を目指すものです。

《お知らせ》

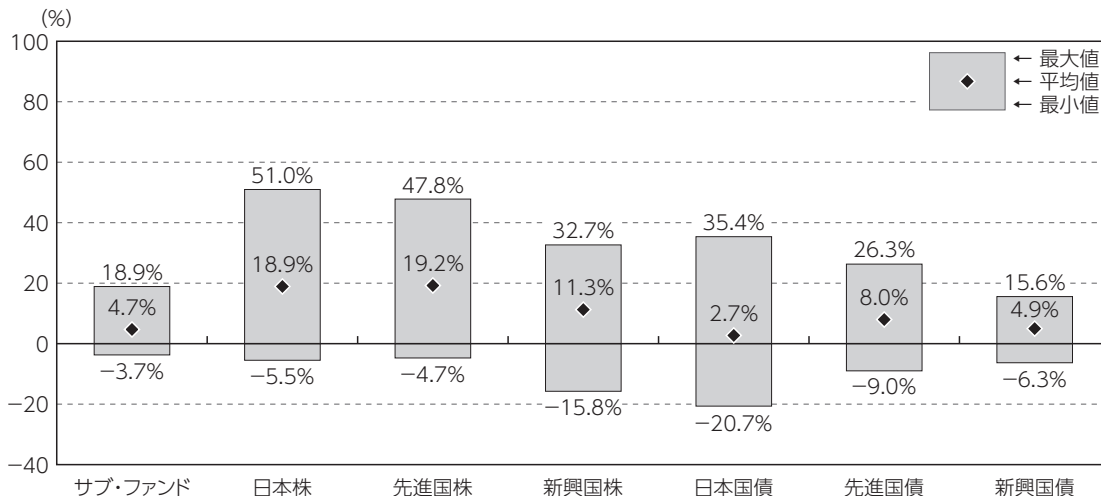
2018年4月より、原ファンドに適用される報酬等のうち、ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッドが受領するdbX投資助言報酬について、年率1%が0.85%に、また、成功報酬料率20%が16%に、それぞれ引き下げられました。

《サブ・ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／単位型
信託期間	サブ・ファンドは、早期に終了される場合を除いて、また、管理会社が受託会社と協議の上管理会社の裁量により、もしくは受託会社および管理会社の同意の上、サブ・ファンド受益者の決議により、またはその他信託証書の定めによりその存続期間を延長する場合を除いて、償還日(2018年10月31日)に終了します。
運用方針	サブ・ファンドの投資目的は、本債券満期日において発行価格の104.2%を確保しつつ、受益者に対して、参照指数のパフォーマンスに連動するリターンを提供することにより、サブ・ファンドの資産の中長期的成長を目指すことです。
主要投資対象	本債券発行会社により発行される信託債券(以下「パフォーマンス・リンク債」といいます。)
サブ・ファンドの運用方法	サブ・ファンドは、投資目的を達成するために、その資産の実質的にすべてをパフォーマンス・リンク債に投資します。
分配方針	サブ・ファンドについて、分配は行われません。

(参考情報)

● サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(出所) 指数提供会社のデータを基にアンダーソン・毛利・友常法律事務所が作成

※ 全ての資産クラスがサブ・ファンドの投資対象とは限りません。

※ 2013年3月から2018年2月の5年間の、各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、サブ・ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、サブ・ファンドの騰落率の計算における各月末の受益証券1口当たり純資産価格については、取引日(評価日)ベースの数値を用いています。

※ このグラフは、サブ・ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

<各資産クラスの指数>

日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (豪ドルベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (豪ドルベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (豪ドルベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (豪ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド

※ 日本株および新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより豪ドル換算しています。

《ファンドデータ》

【サブ・ファンドの組入資産の内容】

●組入上位資産

(組入銘柄数: 1銘柄)

(2017年10月末日現在)

	組入比率
2018年満期豪ドル建ボラティリティ・コントロール指数連動信託債券	100.46%

(注)組入比率は純資産価額に対する当該組入資産の評価額の割合です。以下の各グラフも同様です。

●資産別配分

	比率
社債	100.46%
現金等	-0.46%
合計	100.00%

●国別配分

	比率
ルクセンブルグ	100.46%
現金等	-0.46%
合計	100.00%

●通貨別配分

	比率
豪ドル	100.46%
現金等	-0.46%
合計	100.00%

(2017年10月末日現在)

(注)当期末の組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

【純資産等】

第6期末	
純資産価額	6,743,315.14豪ドル
発行済口数	57,300口
1口当たり純資産価格	117.68豪ドル

(単位:口)

第6期中		
販売口数	買戻口数	発行済口数
0	15,500	57,300
(0)	(15,500)	(57,300)

(注) () の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。